

コレクション展2023-夏秋

特集：本のために — 大家利夫の仕事

2023年8月11日(金・祝) - 9月24日(日)



1. 大家利夫 石川淳著『挿繪本 紫苑物語』特装本(O Jun 絵) 2005年 和歌山県立近代美術館蔵

レセプション・特別観覧のご案内 2023年8月11日(金・祝) 午後5時 - 7時

受付時間は午後4時30分 - 5時です(出席の場合は恐れ入りますが8月4日(金)までにお知らせください)。プレス関係者の方のご出席もお待ちしております。ぜひ、この機会に取材していただき、魅力を発信してくださいようお願い申し上げます。

お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館

学芸担当：井上芳子 広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14

T E L : 073-436-8690

F A X : 073-436-1337

E-MAIL : press@momaw.jp

W E B : <https://www.momaw.jp>



WEB



Facebook



Twitter



Instagram

コレクション展 2023 - 夏秋 特集：本のために― 大家利夫の仕事

2023年8月11日（金・祝）- 9月24日（日）

1963年に和歌山城内で開館した和歌山県立美術館を前身とする当館は、1970年11月、日本で5番目の公立近代美術館として県民文化会館の1階に開館しました。そこで23年あまり活動したのち、1994年に現在の黒川紀章の設計による建物へ移転し、展示・保存環境を拡充させてミュージアムとしての活動を続けています。

コレクションは和歌山ゆかりの作家を中心として、創作版画、関西の戦後美術などへその範囲を広げ、現在では海外の作家も含め、総数1万点を超える作品を収蔵しています。コレクション展では、所蔵品を通じて幅広い美術の表現に接していただけるよう、季節ごとに展示を替え、その紹介を続けています。

今回は特集展示として、造本家・大家利夫（おおいえ・としお）の作品を紹介します。大家利夫は1949年、東京に生まれました。15歳の頃から限定本の世界に惹かれるようになり、18歳の時、オペラ歌手 藤原義江を訪ねて同氏の著作『きりすとの涙』の個人出版を実現させたのが本作りの始まりでした。その後、1970年に渡仏し、1971年から1974年にかけてフランス国立エスティエンヌ印刷工芸高等学院で、フランスの伝統工芸である箔押しと手工製本（ルリユール）、工業製本全般を学びます。在学中からフリーの箔押し師として仕事を始め、製本工芸の名品を生み出したことで知られるジベール・バレ・デザイン事務所やデルモン・デュバル工房で働いて研鑽を積みました。1974年、帰国して大家利夫美術装丁工房を設立。1984年にはあらたに指月社（しげつしゃ）を設立し、詩人や翻訳者、研究者、そして柄澤齊、スザンヌ・トライスター、山本容子、渡辺和雄、森村泰昌、O Junといった美術家やデザイナーたちの良き理解者・協力者として伴走しつつ、内容、材料、印刷、製本、頒布のすべてに心血を注ぐ、世界でもほかに類をみない個人出版社となりました。その完成度を極めた仕事は高く評価され、2012年にはロサンゼルス・カウンティ美術館で個展が開催されています。日本の工芸への造詣を深め、あたかも茶碗を手にした時のようなふっくらとした手触りも、大家作品の特色といえるでしょう。本のために、挑戦を続けて完成された、作品としての本がそこにあります。

また今年2月から4月にかけて開催した「とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家」展において、1950年代から60年代にかけての彼らの作品を紹介したのに続き、池田満寿夫の1960年代から80年代の作品を広島市現代美術館の協力により特集します。

開催概要

- 主催 和歌山県立近代美術館
会場 和歌山県立近代美術館 1階展示室
会期 2023年8月11日(金・祝) - 9月24日(日)
開館時間 午前9時30分 - 午後5時(入場は午後4時30分まで)
休館日 月曜日(9月18日は開館し9月19日に休館)
観覧料 一般350(270)円、大学生240(180)円 ()内は20名以上の団体料金
*高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料
*毎月第1日曜日(9月3日)は無料
*毎月第4土曜日(8月26日、9月23日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

主な出品作品

掲載用画像については広報担当にお問合わせください。
*すべて当館蔵です。 *文字のせ、トリミング等にご遠慮ください。



2. 大家利夫 気谷誠著『メリヨンの小さな橋』特装本(柄澤齊 巻頭画) 1986年



3. 大家利夫 白石かずこ詩『羊たちの午後』特装本(スザンヌ・トライスター 画) 1998年



4. 大家利夫 ホール・ヴァレリー著、小宮正弘訳『書物の容姿』特装本(柄澤齊 装画) 1999年



5. 大家利夫 ホール・ボネ著、小宮正弘訳『書物装飾・私観』特装本(渡辺和雄 装画) 2002年





6. 大家利夫
ポオル・ヴァレリイ著『海邊の墓地』(清水洋子 挿画)
2004年



7. 大家利夫
ジョン・ソルト著、田口哲也監訳『北園克衛の詩と詩学
2017年



意味のタペストリーを細断[シュレッド]する』特装本

関連事業

内容の変更、事業の中止を行う場合があります。
変更があった場合は、美術館のウェブサイトでお知らせします。

▶ 記念対談「よむ本、みる本」 大家利夫 × ロバート キャンベル

日時: 2023年8月11日(金・祝) 午後2時~4時

会場: 和歌山県立近代美術館 2階ホール

定員: 80名(先着順)

*当日9時30分より受付にて整理券を配布します。

友の会会員は事前に予約できます。

ロバート キャンベル (日本文学研究者)

ニューヨーク市出身。専門は江戸・明治時代の文学、特に江戸中期から明治の漢文学、芸術、思想などに関する研究を行う。主な編著に『よむうつわ』(淡交社)、『日本古典と感染症』(角川ソフィア文庫、編)、『井上陽水英訳詞集』(講談社)、『東京百年物語』(岩波文庫)ほか。



ロバート キャンベル氏

▶ 展示解説

日時: 2023年8月12日(土)、27日(日)、9月16日(土)、23日(土) 午後2時~3時

会場: 展示室のほか、リーディングコーナー

*本に触れていただくため定員10名程度(先着)。大家利夫氏による解説を予定

同時期に開催の展覧会

▶ なつやすみの美術館 13 feat. 橋本知成

会期: 開催中-9月10日(日)

▶ 県立博物館(とたり)の展覧会

夏休み子ども向け企画展

きのくにのかたな-和歌山県立博物館の赤羽刀-

会期: 開催中-8月27日(日)

企画展 法燈国師

会期: 9月2日(土)-10月1日(日)